歯の健康だより　執筆・監修——(社)仙台歯科医師会

No.35

●カメラルポ
-在宅歯科診療-

● 歯の健康アドバイス
&トピックス
・介護のための
口腔保健マニュアル
・食と歯に関するお話
・喫煙と歯周病

● あなたの疑問に
おこたえします
Q&A

仙台歯科医師会からのお知らせ
歯科福祉医療サービスの紹介

80歳で20本の歯を残そう

歯の健康だより　スマイル　監修／(社)仙台歯科医師会　発行／(有)仙台プロデュース

1998 歯の健康だより Smile No. 35

CONTENTS

スマイル35号発刊にあたって

仙台歯科医師会　公衆衛生委員会
大内　康弘

２１世紀に来るべき高齢者社会においていかにしておいしくものを食べられるか、そしていかにして口腔ケアをしていくかということが非常に大きな問題となってきています。

仙台歯科医師会では在宅歯科診療にも力を入れとりくんでおりその活動や、高齢者の介護・口腔ケアの仕方など、スマイル誌上でも特集として少しづつではありますがお伝えしていきたいと思っています。

わかりやすい誌面をめざして編集していきますが、疑問・質問があればどしどしスマイル宛てまでご一報くださるようお願い致します。

寝たきりなどで通院困難な方のための

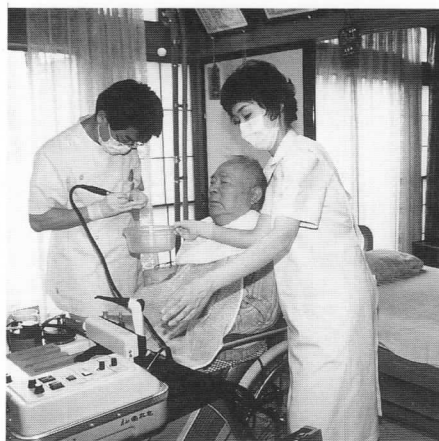
(社)仙台歯科医師会

在宅歯科診療

歯科医師が診療車で患者さんの自宅へ往診

（社）仙台歯科医師会では、昭和62年から全国に先駆けて、寝たきりなどで歯科医院に通院できない方のために、歯科医師が診療車で患者さんの自宅までお伺いし治療を行う「在宅歯科診療」を行なっています。

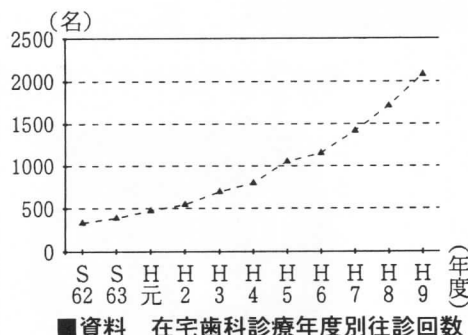
全国的にみても、行政が窓口となってこのサービスを行っているケースはありますが、歯科医師会が直接行っている例は少なく高い評価を受けています。申し込み・運用が直接歯科医師会なので歯科医師の手配などスピーディーな対応ができ患者さんに大変喜ばれています。また、利用回数も県単位で1000回を超えるケースはありますが、仙台は市という単位で今年は約2000回位の往診になる見込みです。もちろんこの利用回数も日本一で全国的にも高い評価を受けています。

在宅で寝たきりのため通院が困難な方への訪問歯科診療、訪問歯科衛生指導を行なっています。

■在宅歯科診療車（歯科診療に必要な機材をのせている）

仙台歯科医師会によせられた（在宅歯科診療）
患者さんからのお礼の手紙

■ ベットに寝ながらの治療なのに申し分のない治療をして頂いて感謝感激です。おかげさまで良くかめることの幸せを満喫しています。有難うございました。

■ 入れ歯がひび割れて長い間不自由していましたが、新しくしていただき正に生きかえった様な気持ちで余生が楽しくなり大変助かっております。

■ この度は、仙台歯科医師会の御尽力により、母（○森ま○江）の総義歯を作って頂き、誠にありがとうございました。車椅子でも移動が容易でない母の入れ歯がこわれました時、もう本当にどうしようと思いました。このままでは生命にもかかわることと私達は脅かされました。この様な時、仙台歯科医師会の○○さんにうったえましたところ、遠方にもかかわらず往診して戴き、御立派な先生のもと義歯が出来上り、それをした時、母は久しぶりの鏡をみてとても嬉しそうに「先生にすぐお礼の電話して」と申しました。高齢化到来の世の中、この様な皆々様の暖かい恩恵を受けることが出来、日頃老人を抱える重さの中にある家族一同ほっと救われた様な気がし、又一生けんめいしなければと力がわいてまいりました。つたないペンですが、心からお礼を申し上げます。

(名) 2500 / 2000 / 1500 / 1000 / 500 / 0
S62 S63 H元 H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 (年度)

■資料 在宅歯科診療年度別往診回数

INFORMATION

（社）仙台歯科医師会 **在宅歯科診療**

診療時間、予約などのお問い合わせはお気軽にご相談ください

電話 022-261-7345 （仙台歯科福祉プラザ）

●診療日 月曜日～土曜日
●受付時間（予約診療制）月曜日～金曜日 9時～11時半13時～16時15分
土曜日 9時～11時半

スマイルが歯の健康のために
送るいろいろな歯に関する
話題のコーナーです。

歯の健康アドバイス＆トピックス

介護のための口腔保健マニュアル

シリーズ その1

食べること、話すこと、表情の一つのポイントになることなど、歯と口は人にとって重要な機能と役割を果たしています。口腔保健を常に心がけて歯と口の健康を維持することは、私たちすべてにとって非常に大事なことです。

わが国は高齢社会がいよいよ進んで、今や世界一の長寿国になってきております。そのなかで、さまざまな理由によって寝たきりになっているお年寄りも決して少なくない状況です。この寝たきりのお年寄りやある種の障害をもった方々にとって、自分で歯磨きをしたり、入れ歯を清掃して、口腔保健を常に維持することは必ずしも容易ではありません。そうした場合、介護に携わる人が身の回りの介護の一環として、寝たきりのお年寄りや障害者の方々の口腔保健を維持していくことが必要になります。

そこで、介護にかかわる方々が容易に理解できる「介護のための口腔保健マニュアル」を作成しましたのでご活用ください。（シリーズでお送りします）今回は寝たきり者の口腔保健の大切さをよりよく理解していただくため、歯・口腔の機能、噛むことの重要性を述べて、口腔に関心をもっていただき、その後、口腔を観察することの大切さと口腔疾患の予防法について解説します。次号は具体的な口腔清掃法です。

1 歯・口腔の機能

それぞれの歯は異なった機能をもち、その機能に応じた形をしています。上下の前歯はハサミのように食べ物を裁断する役目をもち、それを口の中に送り込みます。送り込まれてた食べ物は、舌や頬部の筋肉の働きによって歯の上にのせられて、臼のような形をした上下の臼歯によって噛み砕かれ、唾液と混ぜ合わされて食塊をつくり、食道へと送られます。この噛んで（咀嚼）、呑み込む（嚥下）機能がすなわち消化の第一段階であり、歯と口腔の第一の機能といえます。

2　噛むことの効用

よく噛むこと自体、人間にとっては実に重要な働きをもっているのです。

よく噛める状態にある人は健康状態も良いとされています。物を食べるときに噛むという機能は、単なる栄養摂取のための機能だけでなく、多くの効用をもった機能なのです。

■よく噛むことの効用

①頭・顎の骨、歯と歯周組織の健康の保持

②脳への刺激

③唾液分泌の促進

④満腹感の獲得

そのほかに、筋肉の萎縮防止、姿勢の制御、ストレスの防止などにも効用があるといわれています。

3　口腔の観察

■なぜ口の中を観察するのか

寝たきり者にとっても、自分の歯で噛むことができるかどうかは重要な問題です。入れ歯を使って物を食べている場合には特に入れ歯の具合が関係してきます。急に食べなくなったり、食欲が進まないときには口の中をよく観察する必要があります。

口腔は複雑な形をしており、また温度と湿度の関係などから細菌が住みつくには絶好な場所ですから、できるかぎり清潔に保つことが大切です。口腔を不潔にしておくと歯の周りの細菌の活動が活発になり、普段はなんともなかった歯が突然炎症を起こして腫れてくることがありますので、日頃の心がけが大切です。また、体力の衰えなどがあると、口腔内に常に存在する細菌によりさまざまな病気を起こすといわれています。たとえば誤って飲食物が気管に入りますと、誤嚥性肺炎を起こして生命にかかわることがありますので、高齢者は特に口腔の清潔を保持することが重要です。

■特に注意して観察するところ

A　むし歯また歯周病になりやすい所

①歯の咬合面

②歯と歯肉の境目

③歯と歯の間

B　粘膜の異常

入れ歯が合わなかったり、なにか硬い物が挟まったりした場合には、粘膜に傷ができますので、出血したり、白くなったりしています。入れ歯をはずしてしばらく様子をみてください。

入れ歯をはずした所に一致して粘膜が赤くなっていたり、白い斑点ができている場合は、義歯性口内炎が疑われますから、入れ歯を取り外してよく洗い、入れ歯用洗浄剤に漬けておいてください。それでもなかなか治らない場合は、歯科医師に相談してください。

C　舌

寝たきり老人は、それが原因で寝たきりの状態になった病気があるわけですから、多くの場合、薬を数種類常用しています。そんなとき、しばしばその副作用で舌が黒くなったり、白い苔状の物が付着する場合があります。また、それが原因で口臭の出ることもありますので歯科医師に相談してください。

4　歯科疾患とその予防

(1)　障害者や寝たきり老人に発生しやすい異常と病気

●障害者の場合

不正咬合（噛み合わせの異常）や歯列不正（歯並びの異常）、歯ぎしり、咬耗（異常に強い噛み方をするうえに、歯の形成不全が重なったりして歯が異常にすり減った状態）、歯の形成異常、そしていくつかの異常や病気が複合して言語障害をきたす場合もあります。また、舌が普通より大きい大舌症、てんかん治療薬による歯肉増殖症、咀嚼機能の発達遅滞などがあります。

しかし、やはり一番多いのは、普通の人たちにもよくみられるむし歯と歯周病です。

●寝たきり老人の場合

寝たきり老人に特有の歯科の疾患というものはありません。高齢者に発生しやすい病気や異常が、寝たきりであるという状態の関係で、その症状や頻度において重篤に、また頻繁に現われやすいということです。

しかしなんといっても、一般の高齢者に多くみられるのは、口の中がぱさぱさに乾く口腔乾燥症があげられます。これは唾液による自浄作用が著しく低下しますので、口の中が不潔になりやすく、むし歯や歯周疾患、さらに口腔粘膜の疾患を引き起こす原因となります。またむし歯ではことに歯肉との境目や歯の根の部分にできる「根面ウ蝕」になりやすいことも特徴です。

(2)　むし歯と歯周疾患の予防

むし歯も歯周疾患もその原因はいわゆる歯の汚れ、プラーク（歯垢）中の細菌ですから、一番効果的でなおかつ共通しているのは歯をきれいに磨いて口の中を常に清潔に保つことです。

むし歯に関しては、歯磨きに加えてフッ素の入った歯磨き剤や洗口剤が効果を発揮します。また、砂糖の入った甘い物の飲食を極力おさえて、代替甘味料などを上手に使うことも効果的だと思います。

歯についた汚れを放置しておくと口臭の原因にもなりますので、歯磨きを中心とした口の中の清潔には、常に心がけたいものです。

（3）口腔粘膜の疾患・異常

入れ歯（義歯）を入れている人では、入れ歯でおおわれている部分の粘膜に炎症（義歯性口内炎）ができることがあります。これは一般に細菌やカビなどによる複合感染で生じますので、毎日、入れ歯を注意深く清掃することが大切です。義歯洗浄（清掃）剤を使用するのもよいでしょう。

また、よく合わない入れ歯を入れていますと、機械的刺激のために、潰瘍ができたりします。したがって、こういう場合は入れ歯を調整するか作り直すかしてもらいましょう。

（4）口腔乾燥症

口腔乾燥症は、唾液の分泌が減少するために口が乾燥した感じになり、口渇（のどの渇き）、摂食障害（食事が摂りにくくなる）、発音障害などを訴えるもので、いろいろな原因で発症します。しかし、一般的にいって、投薬にその原因を求められるものが多いことを知ってください。

唾液分泌を抑制する薬としては、たとえば潰瘍治療剤、降圧剤、抗うつ剤、パーキンソン病治療剤、抗ヒスタミン剤、鎮静剤、催眠剤、利尿剤などがあります。これらの薬剤を常用している患者さんに対しては、口腔の乾燥を防ぐためになんらかの注意が必要となります。

唾液分泌を増加させる方法は、残念ながら現在ではそう多くはありません。したがって、一般的には、唾液分泌減少によってもたらされる好ましくない状況を軽減させる方法に頼ることになります。たとえば次のような方法です。

○砂糖の使用をできるだけ減らす（とくに上記の薬が糖衣錠になっているのを服用している場合はむし歯予防のためにもなおさらです）

○できるだけ口の中を清潔にする

○頻繁にうがいをする

○人口唾液（サリベートなど）やホウ砂グリセリンを使用する。

○お茶やレモン水を頻回にとる。

○歯に対してフッ素応用を心がける

○入れ歯の内面に味のないサラダ油やオリーブオイルを塗る。

以下次号（歯と口の清掃）

（介護のための口腔保健マニュアル（財）日本口腔保健協会　医歯薬出版より引用）

食と歯に関するお話

3回目

食事中にむやみに音をたてるのはマナー違反とされていますが、例えばラーメンやざるそば、ピーナッツ、たくあんなどは、音をたてないで食べることを想像しただけでまずく感じられます。

今回は音の出る食べものの中でも代表選手と思われる「数の子」についての三編をご紹介いたします。

数の子は音を食うもの

北大路櫓山人

「お正月になると、大概の人は数の子を食う。私は正月でなくても、好物として、ふだんでもよろこんで食っている。なかなか美味いものだ。

さて、どんな味があるかと言われてもちょっと困るが、とにかく美味い。しかし、考えてみると、数の子を葉の上に載せてパチパチプツプツと噛む、あの音の響きが良い。もし数の子からこの音の響きを取り除けたら、到底あの美味はなかろう。

音が味を助けるとか、音響が味の重きをなしているものには、魚の卵のほかに、海月、木耳、かき餅、煎餅、沢庵など。そのほか、音の響きがあるために美味いというものを数え上げたら切りがない。

もともとたべものは、舌の上の味わいばかりで美味いとしているのでない。シャキシャキして美味いもの。グミグミしていることが佳いもの、シコシコして美味いもの、ネチネチして良いもの、カリカリして善なるもの、グニャグニャして旨いもの、モチモチまたボクボクして可なるもの、ザラザラしていて旨いもの、ネバネバするのが良いもの、シャリシャリして美味いもの、こりこりしたもの、弾力があって美味いもの、弾力のないためにうまいもの、柔らかくて善いもの悪いもの、硬くて可いもの悪いもの…ざっと考えても、以上のように触角がたべものの美味さ不味さの大部分を支配しているものである。そういう意味において、数の子も口中に魚卵の弾丸のように炸裂する交響楽によって、数の子の真味を発揮しているのである。それゆえ、歯の悪い人には、これほどつまらないものはないだろう。略、

数の子を食うのに他の味を滲み込ませることは禁物だ。だから味噌漬けや粕漬けは、ほんとうに数の子の美味さを知る者は決してよろこばない。醤油に漬け込んでおくことも禁物だ。水にもどしてやわらかくなったものをよく洗い、適当の大きさに指先でほぐし、花がつおかまたは粉がつおのよいものを、少し余計目にかけて、その上に醤油をかけ、醤油があまり卵の中に滲み込まない中に食うのが数の子を美味く食う一番の方法である。しかも、これが在来、世間でふつうに行なわれている方法である。これ以外、変わった料理をしてみても、ただ目先が変わっているというだけで、味覚に、これが美味いというようなものに出くわさない。」（きたおうじ ろさんじん　1883～1958　櫓山人味道　中央文庫）

数の子の麹漬け

吉田健一

「数の子というのは主に歯触りが問題で、これを正月用

に醤油と酒に漬ければその味と数の子の歯触りが数の子の味になり、それでその麹漬けを作れば麹の甘味と塩の味が数の子の歯触りから来るという錯覚を起こしてこれもその歯触りを充分に生かし、こうして又一つの旨いものが出現する。それに数の子の他に昆布が混ぜてあるのがそれが柔らかであるのと昆布に特有の味があることで一層の妙を加えて何か大変な御馳走だという感じに食べているうちになる。確かに御馳走に違いない。併しそうであることに数の子がこの頃はどれ位で幾らしてというようなことは実質的に少しも入って来ないので旨いものは飽きるまで食べて始めて旨いのであり、それが値段が高くて出来ないのはそれで旨さが増すのでなく単に食べる為の条件が悪いのである。」（よしだ　けんいち　1912〜　私の食物誌　中央文庫）

数の子はワインに合わない

田崎真也

「自称ワイン通の方が良くいわれます。しかし、実際に食べてみると、彼らが言うほど合わないことはないです。どうしても合わないと感じるのであれば、それは鰹節と醤油と日本酒に漬け込むからです。もし数の子をフランス人の料理人に調理してもらったら、全く違う料理になると思います。つまり、素材としての数の子がワインに合わないのではなく、日本でよく食べている数の子料理が合わないというべきでしょう。ベーコンとトマトとチーズでグラタン風に料理してみて下さい。辛口のロゼワインがピッタリです。」（たさき　しんや　1958〜　ワイン生活　新潮選書）

コラム

鮫のような歯をもちたい！？ ——

人間の歯は子供の頃は乳歯、大人になると永久歯にはえかわります。しかしはえかわるのもここまで。歯周病や虫歯により歯がなくなってしまうとそのあとはブリッジを入れたり、入れ歯を使わなければなりません。そうすると何とも不便で思ったように物が食べられなくなるのが現状です。ではなぜここで鮫の歯がうらやましいのでしょうか？

鮫の歯というのは外見だけ見ると鋸歯状（ノコギリのような形）に並んでいるのですが、実は中のほうを見ると、それが何枚も重なって内側のほうまでぎっしりと並んでいます。そして鮫は何でもかみ砕くように食べてしまうので、歯が欠けたり、折れたりしやすいのです。しかし折れたりなくなってしまっても後に控えている歯がベルトコンベアーの様に次から次へとはえかわってきます。つまり歯がなくなってしまうことがないのです。人間にすればうらやましい限りですね飼っている方は一度注意してみてください。歯科医院でペットの歯石は取れませんが、動物病院によっては歯石の除去など歯の手入れをしてくれるところもあるそうです。

3 喫煙と歯周病

悪性新生物（ガン）が死亡原因の第一位、中でも肺ガンの死亡率が高くなってきた今、その関連性から、喫煙の健康に対する有害性は、今日確立された考え方となっています。殊に、国家的問題として禁煙に取り組んでいるアメリカでは、ただ単に健康を損ねるという理由だけでなく、禁煙できないのは自己管理ができないだめな人間とレッテルを貼られ、反社会視されているのが現状です。全てにおいてアメリカナイズされている日本においても今後、さらに喫煙に対する風当たりが強くなることが予想され、愛煙家にとっては肩身の狭い時代になってきました。

ここで更に愛煙家にとっては頭の痛いお話になってしまいますが、最近の研究でタバコは全身だけでなく口腔の健康にも重大な問題を引き起こす事が明らかになってきました。口の中の健康といってもいろいろありますが、殊に歯周病を助長する最大の危険因子の　ひとつとしてクローズアップされるようになってきたのです。

●歯周病の原因となる喫煙

今までは歯周病の原因は歯の汚れ（歯垢・歯石）、噛み合わせの異常、歯ぎしりなど直接的な原因に起因するものと遺伝、全身の病気（糖尿病など）など、生体自身に起因するものとに大別されてきました。しかしながら、タバコの煙は直接的に口の粘膜に接触し、また間接的には生体の

環境

生活習慣要因（食生活・喫煙・飲酒など）
教育文化要因（教育レベル・宗教など）
経済的要因（収入・財産・景気など）
医療保健要因（医療保健制度・医療保障など）

病因

歯垢
（歯肉縁上歯垢・歯肉縁下歯垢）
歯石
（歯肉縁上歯石・歯肉縁下歯石）
歯周病関連菌
（P.gingivalis,P.intermedia,B.forsythus）
外傷性因子
（外傷性咬合・食片圧入・ブラキシズムなど）

歯周病

宿主

遺伝的要因
（素因・体質・遺伝病・先天免疫など）
生物学的要因
（年齢・性・人種・後天免疫・全身疾患など）
精神的・意識的要因
（性格・ストレス・健康意識・口腔保健行動・受療行動など）
臨床的口腔要因
（解剖学的口腔形態・歯周病の程度　歯肉出血・歯の動揺・歯の喪失　唾液分泌など）

免疫系（病原菌に対抗する力）に作用することから、生活環境・習慣としての喫煙も大きな要因として歯周病の原因のひとつに仲間入りすることになりました。

●喫煙者の歯周病の特徴

まず第一に、非喫煙者に比べて病変は重度で広範囲にわたります。特に上下の前歯の顎の骨の吸収が著しく、外観からわかる特徴として歯の周りの歯肉が肥厚しロール状に丸みを帯びてきます。

健康な歯肉

ロール状に肥厚した歯肉

第二に、喫煙者の歯周病は喫煙者に比較して若い年代のうちに発症して病状の進行が速く、治療後の予後が非常に悪いという特徴があります。

治療をしても喫煙によって組織を修復する力が弱まっているため予後が悪い

第三に、これが喫煙者にとって重大なリスクとなりますが、歯周病が進行しても歯肉の著しい発赤や腫れなどの炎症が表立って現われないということにあります。つまり、喫煙によって歯の周りの組織の炎症症状の発現が遮蔽されるため、歯周病の初期症状が自覚症状として現われず、気が付いたときには歯がグラグラということが起こってくるのです。みなさんのなかには歯肉が赤く腫れたり膿をもったりするのはただ病原菌が暴れているからだと思われている方が多いと思いますが、実は体の中で病原菌とそれに対抗する自分の体を守る兵隊が戦っているため現われる症状なのです。喫煙によって、自分の体の中の兵隊の力が弱まり、数が減ることによって歯周炎がひどくなり、危険信号を出すこともできないために病原菌が野放しになるという状態が喫煙によって起こり得るのです。

喫煙が原因で死亡する推定人数は、自分が吸ったタバコで年間約8・5万人、他人が吸ったタバコで年間2・5万人の計11万人が死亡するとも言われています。

そんなこと言われたって“わかっちゃいるけどやめられない”と思っている方はさておき、タバコを吸っている方で歯周病が気になる方はご再考ください。

ただ、いくら禁煙しても歯垢や歯石がベッタリでは何の意味もありませんから、歯科医院での定期検診と日頃のブラッシングをお忘れなく。

あなたの疑問に Q&A おこたえします

Q1　この間、奥歯の虫歯がひどいということで、歯の神経を抜いてもらいました。歯の神経ってどんなもの？

A：歯の神経を見せていただいた人は少ないと思います。そもそも歯の神経と一般に呼ばれるものは、専門的には歯髄といい、細い神経の束と血管やリンパ管の集合体のことを指します。肉眼では、ちょうど鶏肉のささみのすじのような感じです。前歯の神経は比較的太いので、きれいにとれることがあります。

歯髄はエナメル質と象牙質という硬い組織にくるまれている柔らかい組織です。歯髄の神経は三叉神経から枝分かれした上顎神経と下顎神経の末端であり、外部の刺激に対して痛みとしか感じません。かゆいとかしょっぱいというような感覚でしたら、歯医者への恐怖感もだいぶ薄れるかもしれませんね。

Q2　口の中にもガンは出来るのですか？

A：ガンはどこにでもできるといっても過言ではありません。口腔領域の諸組織には、上皮性のガン種と、非上皮性の肉腫という悪性腫瘍が発生します。上皮性のものは口唇、頬粘膜、歯肉、硬口蓋、口底、舌、口峡咽頭などの部位に発生します。また、非上皮性のものは顎の骨の中や軟組織内部の筋肉、血管、神経、リンパ管などの部位にできます。口腔領域の悪性腫瘍は発生頻度からいえば、身体全体の１％くらいで、そう多くはありません。治療は、やはり手術で悪い所を取り除くことと、放射線治療、抗癌剤の投与などです。他の部位の悪性腫瘍と同じように、早期発見、早期治療が大切です。

（社）仙台歯科医師会からのお知らせ

仙台歯科医師会では、市民の皆さんのために役立つ様々な事業を行なっています。本号では、障害者・休日夜間歯科診療所（仙台歯科福祉プラザ）についてご説明いたします。

▲障害者歯科診療年度別患者推移

仙台歯科医師会は、昭和52年より、仙台市と協力して休日歯科診療所を宮城県歯科医師会館内において、また昭和57年より、仙台市石名坂に障害者歯科診療室を開設しておりました。しかし、休日歯科診療所の設備上の問題点、夜間救急歯科診療所の必要性、障害者歯科診療の在宅訪問歯科診療の量的拡大への対応と質的向上、歯科保健の充実、口腔の健康教育施設の必要性がありましたので、仙台市の協力を得て、平成6年9月に青葉区五橋にある仙台市福祉プラザ12階に、（社）仙台歯科医師会障害者・休日夜間歯科診療所（通称仙台歯科福祉プラザ）が開設されました。この施設は、身体に障害があるため、一般の歯科医院での診療が困難な市民のために特に工夫されています。全身麻酔により、まったく痛みを感じさせず、数多くの歯を同時に治療することができ、通院回数を少なくすることができるなどが一例です。

また診療だけでなく、歯科保健指導、検診および予防処置も行なっています。そして一般の歯科医院が診療していない日時にも診療を行なっており、市民の皆さんに非常に感謝されています。

▲休日歯科診療年度別診療状況

仙台市民への
歯科福祉医療サービス

■在宅寝たきり者歯科診療

寝たきりなどで歯科診療所に通院できない方の診療を行っております。

■障害者歯科診療

一般歯科開業医で治療困難な障害者の診療を行っております。

（全身麻酔下での治療も行っております。）

■休日夜間救急歯科診療

急に歯が痛みだしたら、お問い合わせ下さい。

●休前日の夜間
●休日の夜間
19時～23時

●休日の昼間
10時～16時

平日の夜間は診療しておりません。

■問い合わせ先
仙台市青葉区五橋2丁目12-2
仙台歯科医師会
障害者・休日夜間歯科診療所
仙台市福祉プラザ12F
022-261-7345

Smile 第35号
平成10年7月31日発行
定価 150円
■編集・発行／（有）仙台プロデュース
発行人／武田 英俊
仙台市青葉区一番町1丁目6-20
東一甲子ビル4F TEL022-264-0477
■執筆・監修（社）仙台歯科医師会・公衆衛生委員会
田熊 和夫 佐藤 武司 大内 康弘 大山 治
梁川 誠郎 山崎 尚哉